

科目区分・分類	一般・講義	対象学科名・学年	両専攻 1年	科目コード	77911203
科目名	外国史概論 Foreign History				
担当教員	久保田 和男				
単位数(時間数)	選必 前期 2単位 (30時間)	学習・教育目標との対応	(A-1)		
授業の目的と概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度は東アジア近代史を欧米列強特にイギリスとの関係のなかで学ぶ。</li> <li>・シンガポール・香港・上海という近代において顕著に発展した都市の歴史について一定の理解を得る。</li> </ul>				
先修科目					
後修科目					
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本科において学んだ歴史的知識や認識方法の上において授業を進める。世界史の教科書や参考書などの該当箇所読んでから授業に出席して欲しい。</li> </ul>				
	<b>授業項目</b>	<b>時間</b>	<b>内容</b>		
1	イギリス東インド会社の設立と銀の流通	2	オランダ・イギリスのアジア貿易における闘争と棲み分けを考える。		
2	アジアの物産と東インド会社	2	アジアの製品を輸入するヨーロッパ商人の活動について考える。		
3	シンガポールを中心とする英国海峡植民地の形成	2	マラッカ海峡をめぐる列強の闘争と東南アジア植民地化を考える。		
4	シンガポールの歴史	2	英国植民地としてのシンガポールの住民構成やその統治体制を考える。		
5	シンガポールの歴史	2	第二次世界大戦の前後のシンガポールについて		
6	アヘン戦争について	2	イギリス人の生活におけるコーヒーと紅茶、そして砂糖が歴史に及ぼした影響を考える。		
7	アヘン戦争について	2	清朝の盛世について考える。		
8	アヘン戦争について	2	イギリスの自由貿易体制形成の一環としてのアヘン戦争の結果として考える。		
9	英国植民地としての香港	2	植民地都市香港の形成と社会構造について考える。		
10	香港の歴史	2	東アジア貿易の拠点としての香港の歴史を考える。		
11	西洋の衝撃と日本の対応について	2	アヘン戦争前後の江戸幕府の対外政策について考える。		
12	西洋の衝撃と日本の対応について	2	ペリー来航やアメリカの門戸開放外交について考える。		
13	国際都市上海の形成	2	上海の租界都市としての発展を考える。		
14	イギリスの帝国主義の終了	2	パックスアメリカーナと脱植民地化の進展。		
15	まとめ	2	テストとまとめ		
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	授業内容を基本的に理解でき、それを文章として表現できる。これらを満足することで、学習・教育目標の(A-1)の達成とする。				
成績評価	試験の成績(70%)と授業への取り組み姿勢(30%)を判断して評価する。合計の6割以上を獲得した者を(A-1)を達成したものとして、この科目の合格者とする。				
教材	参考書 秋田茂『イギリス帝国の歴史 - アジアから考える』中公新書 / 岩崎育夫『物語シンガポールの歴史』中公新書 近藤和彦『イギリス史10講』岩波新書 吉澤誠一郎『清朝と近代世界』岩波新書 岡本隆司『李鴻章』岩波新書				
オフィスアワー	月曜日16:00～17:00 管理棟1F 社会科教員室2				